

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和02年05月19日

計画の名称	安全で快適な暮らしの基盤の整備（防災・安全）												
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	加古川市												
計画の目標	今後発生が予測される大地震による地盤変動が原因となって、甚大な被害が発生する可能性の高い盛土造成宅地において、変動予測調査（第二次スクリーニング計画の作成および地下水位の変動の調査）を実施し、その結果を踏まえ第二次スクリーニングを計画する。 第二次スクリーニングの結果をもとに、当該地区の住民への情報提供を行うとともに、造成宅地防災区域の指定及び滑動崩落防止工事の必要性を検討することにより、災害に強い安全・安心で快適な市街地整備を目指す。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	15	A	15	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		平成27年度当初	平成29年度末	平成31年度末
1	大規模盛土造成宅地における変動予測調査（第二次スクリーニング計画の作成）の実施割合を100%とする。 抽出した大規模盛土造成宅地における変動予測調査の実施割合 実施割合 = (変動予測調査を実施した造成地数) ÷ (全大規模盛土造成地数)	0%	70%	100%
2	必要に応じて地下水位の変動等の調査を実施し、第二次スクリーニング計画の精度向上を図る。 地下水位の変動等の調査を実施した箇所数	0箇所	2箇所	8箇所

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---



事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

未実施箇所の地下水位調査計画の策定

事後評価の実施時期

令和2年5月

公表の方法

加古川市ホームページにて公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する  
交付対象事業の効果の発現状況

H27～H31年度にかけて加古川市における大規模盛土造成地8箇所の地下水位調査を行うべく計画をたてたが、盛土の形状及び状況などから地下水位の調査箇所を6箇所に変更したこと、地元調整が困難し実施箇所が4箇所となったため目標値を達成することができなかった。そのため、残り2箇所の地下水位調査が未だ実施できていない。

定量的指標以外の交付対象事業の  
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

R2年度に2箇所の地下水位調査を行うことにより、第二次スクリーニング調査を完了したい。

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	大規模盛土8か所の地下水位調査（地下水位調査の実施箇所数/地下水位の調査計画箇所数）%	
	最終目標値	100%
	最終実績値	50%
2	実施した地下水位調査箇所 箇所数	
	最終目標値	8箇所
	最終実績値	4箇所